

害虫防除業務仕様書

国保中央病院組合（以下、「発注者」という。）が委託する「害虫防除業務委託」は、本仕様書に基づくものとする。本業務の受注者（以下、「受注者」という。）は本仕様書に掲げる項目を遵守すること。

1 業務目的

本業務は、国保中央病院内（以下、「病院内」という。）の衛生的な環境の確保のため、ねずみ及び衛生害虫（以下、「害虫等」という。）の生息調査及び防除を目的とする。

2 業務名

国保中央病院害虫防除業務委託

3 業務履行期間

平成30年7月1日から平成31年6月30日まで

4 法令順守

本業務は「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）」「環境基本法（平成5年法律第91号）」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）」、その他関係法令に基づき、履行すること。

5 対象施設

対象施設 : 国保中央病院（奈良県磯城郡田原本町大字宮古404-1）
緩和ケア病棟、看護師寮、ゴミ保管庫、排水層、汚水槽
建物規模 : 鉄筋鉄骨コンクリート造 地下1階 地上7階
敷地面積 : 約11,644㎡
延面積 : 約12,684㎡
病床数 : 220床

6 施工頻度・場所

施工場所については、以下のとおりとする。

(1) 定期点検（月1回）

地下厨房、各病棟配膳室及び洗面所、ゴミ保管庫、排水槽、汚水槽

(2) 全体点検（年1回）・・・7月頃実施

全館（病院本館、緩和ケア病棟、看護師寮、ゴミ保管庫、排水槽・汚水槽）

- ① 病院本館 : 地階～7階全域、但し清潔区域（手術室他）や入室禁止箇所を除く。
- ② 緩和ケア病棟 : 1階～3階全域、但し病室を除く。
- ③ 看護師寮 : 1階～2階全域（保育園を含む）
- ④ ゴミ保管庫 : 本館外部
- ⑤ 排水槽、汚水槽 : 地階

4 施工方法

充填処理、噴霧処理、隙間処理の方式を組合せて行うこととする。

(1) 充填処理

ジェル状剤（ベイト剤）でゴキブリの生息や繁殖可能な場所（流し台、機械類の後ろや周辺、店頭台やその周辺、その他）を重点的に処理施工するもので全館に渡り適所に使用する。

(2) 噴霧処理

残効性薬剤を極所に重点噴霧する事により這回するゴキブリに薬剤を摂食せしめ、駆除することを目的としたもので、ベイト剤の使用不可能な場所（水を大量に使用する場所、その他）に対し、極所重点的に使用する。

(3) 隙間処理

微小空間に潜んでいるゴキブリを空気の圧力でもって薬剤を深部に到達せしめ駆除することを目的としたもので駆除効率を上げるため、重点処理や噴霧処理と並行して使用する。

5 施工手順

(1) 定期点検（月1回）

- ① 施工場所：地下厨房、各病棟配膳室及び洗面所、ゴミ保管庫、排水槽、汚水槽
生息調査用トラップを配置し、補虫の有無を確認し、同時にベイト剤補充処理等を行う。

(2) 全体点検（年1回）

① 施工場所：各階全域

各階各所施設の責任者（病棟にあっては師長や主任）の指示に従い、ゴキブリの這回、又は棲息、営巣など可能な腫瘍箇所にベイト剤を主体とした処理施工を行う。

② 施工場所：7階食堂

- ア 事前点検 : ガス報知機、給湯器など事前に安全確認を行う。
- イ 設備養生 : 塩化ポリシートで設備の養生を行う。
- ウ 残留噴霧 : 主要箇所の噴霧処理。
- エ 隙間処理 : 主要箇所の隙間処理。
- オ 生息検査 : 施行直後の全域生息状況観察を行う。
- カ 補充処理 : 観察結果に基づく部分的な噴霧処理、隙間処理を必要に応じて追加処理を行う。

6 使用薬剤

薬剤については、以下に準ずるものを使用してください。

(1) ベイト剤

ヒドラメチルノンを主成分としたベイト剤で臭いもなく安全性が高いもの。

(2) フェニトロチオンMC

プレミアムスミチオンをマイクロカプセル化し従来の薬品に比べて安全性が高い。ベイト剤使用不可能な場所に対して使用する。

(3) シフェノトリン乳剤

ピレスロイド系乳剤で規定倍数に希釈し主に建物外部、排水溝、汚水槽等の水回り箇所に部分的に使用する。

(4) 簡易スプレー

フェノトリン、イミプロトリンの混合エアゾールで殺虫効果の高いものを使用する。

7 使用機材（以下の同等機器可）

全自動噴霧機 例) 株式会社永田製作所

半自動噴霧機 例) 環境機器株式会社

8 報告

業務が完了した場合は、速やかに作業完了報告書を作成し病院の検収を受けること。

9 その他

病院内で害虫が発見され、受託者に連絡があった際は直ちに現場の確認を行い、害虫駆除行える体制を取ること。